

【AI 技術動向を踏まえた日本産業・企業への示唆】

AI プラットフォーマーの動向とソブリン AI 戦略

～官民で築く「ソブリン AI」と現場データが切り拓く次なる競争優位～

— 講師 — 株式会社みずほ銀行 産業調査部 戦略プロジェクトチーム

アナリスト 齊藤 勇樹 氏

日時 2026年7月7日(火) 午後4時～6時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

2010年代後半以降の技術的ブレイクスルーにより、AIは急速な性能改善を実現している。一部分野での人類に匹敵する性能獲得などを背景に、足元では研究開発をけん引するAIプラットフォームが社会実装に焦点を移行する動きを見せている。

本講演では、米ビッグテック各社の最新戦略を紐解き、日本産業・企業に及ぼすインパクトを整理する。その上で、AIに対する日本産業・企業の向き合い方として、官民連携による「ソブリン AI」構築と、「現場」を活かしたエンタープライズデータ利用について述べる。

1. AI 技術動向と競争環境の現在地
2. 主要 AI プラットフォーマーの戦略
3. AI がもたらす産業・職種インパクト
4. 日本の戦略オプション①: 官民連携投資による「ソブリン AI」戦略
5. 日本の戦略オプション②: 「現場」を起点としたエンタープライズデータ戦略
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 齊藤 勇樹(さいとう ゆうき)氏

2022年 みずほリサーチ&テクノロジーズ入社。デジタル領域のコンサルティングに従事。2024年4月よりみずほ銀行産業調査部にて、デジタル・AI分野を担当するアナリストとして、技術動向および企業戦略などに関するリサーチに従事。主なレポート執筆実績に「AI 開発の新たな潮流 ～資源効率的なアプローチがもたらす AI フレンドリーな世界」(2025年)、「AI 進化をめぐるプラットフォームの戦略～AI プラットフォーマーは脅威なのか」(2026年)など。

